

■この資料は、観光振興施策の方向性に基づいた取組について事業費を試算したものであり、観光振興財源を活用する具体的な事業は、今後の予算編成において検討していく。

■取組内容（例）の中で、観光事業者や市町村等への支援策も検討していく。

これからの取組及び事業規模（案）

事業規模合計 35億円～45億円

施策の方向性	取組内容（例）	事業規模
1 魅力あふれる観光資源	①みやぎの魅力を活かした観光資源の発掘・磨き上げ ▼四季の風景や祭、温泉などを活かした観光の推進 ▼宮城オルレの推進と地元観光資源とのコラボレーションの推進	12億円 ～ 15億円
	②ニューツーリズムなどの新たな視点からの観光推進 ▼日本遺産（政宗が育んだ“伊達”な文化など）を活かした観光の推進 ▼バーホッピングなどの地元文化を取り入れた新たなツアーの推進	
	③体験型観光などの観光の質の向上 ▼旅行者のコト消費に対応した体験コンテンツ等の開発 ▼グリーン・ツーリズムや農泊の推進	
	④歴史的な価値のある観光資源や街並みの再整備 ▼多賀城創建1300年に向けた特別史跡周辺の環境整備等 ▼温泉街などの観光地の街並みの再整備	
	⑤沿岸部にぎわい創出 ▼国内外からの教育旅行等の受入拡大 ▼震災遺構等を活用した復興ツーリズム・防災観光の推進	

施策の方向性	取組内容（例）	事業規模
2 受入環境の整備促進	⑥周遊しやすいインフラ・二次交通の整備・充実 ▼仙台空港から観光地への二次交通の充実や他県と連携した取組 ▼交通渋滞緩和等のオーバーツーリズム対策の実施	10億円 ～ 13億円
	⑦東北のゲートウェイ・仙台空港の活用・強化 ▼空港機能の強化やLCC等の新規路線の誘致	
	⑧わかりやすい観光案内の充実 ▼多言語案内看板の設置の推進	
	⑨誰もが訪れやすい環境整備 ▼宿泊施設等への公衆無線LAN機器設置・案内表示の多言語化 ▼災害時における観光客の受入態勢の整備	
	⑩言語・習慣・文化などの多様性への対応 ▼インバウンドに対応したキャッシュレスの推進 ▼観光施設等のトイレの洋式化・バリアフリー化	

施策の方向性	取組内容（例）	事業規模
3 効果的な情報発信	⑪東北一体の広域観光、国内の連携・周遊促進 ▼東北各県と連携したプロモーションの展開 ▼関係機関と連携した広域観光周遊ルートの造成とPR	6億円 ～ 8億円
	⑫インバウンド向けプロモーションの推進 ▼MICEの誘致・開催の推進 ▼訴求力の高いテーマ設定や現地エージェンシーとの連携強化による誘客促進	
	⑬国内向けプロモーションの推進 ▼通年観光キャンペーンや東北 destinations の展開	
	⑭デジタルマーケティングの推進 ▼デジタルマーケティングの手法による効果的な情報発信とデータ解析に基づく事業展開	

施策の方向性	取組内容（例）	事業規模
4 観光産業の体制強化	⑮観光施設等の整備・支援 ▼魅力の高い観光拠点施設の整備・改修の促進 ▼民泊施設や簡易宿所等の小規模宿泊施設の整備促進	7億円 ～ 9億円
	⑯観光事業者等の支援 ▼宿泊事業者等の生産性向上のための働き方改革やAI・IoTの導入促進	
	⑰明日の観光を担う人材確保・育成 ▼観光ガイドやデジタルマーケティング人材の育成に向けた研修等の実施	
	⑱多様化する観光ニーズの把握 ▼マーケティングデータに基づくニーズ把握の推進	
	⑲魅力ある持続可能な観光地域づくり ▼観光地における循環バスの運行 ▼再生可能エネルギーの活用による観光イベントや観光施設等での環境負荷低減の推進 ▼SDGsの取組による自然環境や生態系等に配慮した観光地域づくりの推進	